**令和４年度大阪府三島保健医療協議会 議事概要**

日時：令和5年2月13日（月）午後2時から午後4時15分

開催場所：茨木保健所　5階大会議室

出席委員：25名

（委員定数30名、定足数16名であるため有効に成立）

　　　山田委員、保田委員、上野委員、山内委員、砂野委員、福島委員、柏原委員、

　　　石田(佳)委員、望月委員、石田(行)委員、南委員、高須委員、木野委員、

岡村委員、田尻委員、𠮷里委員、上田委員、榎谷委員、峯森委員、原田委員、

栗山委員、柚木委員、松浦委員、古川委員、髙岡委員、

**■会長・副会長選出**

会長に高槻市医師会の保田委員、副会長に茨木市歯科医師会の福島委員、摂津市薬剤師会の石田委員が選出された。

**■議題１　令和４年度「地域医療構想」の取組と進捗状況**

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料１】令和４年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

【資料７】二次医療圏における各医療機関の診療実態

【資料７（別添）】三島二次医療圏における各医療機関の診療実態

【参考資料１】過剰な病床の状況

【参考資料２】医療法上の過剰な病床の状況

【参考資料３】地域医療構想に関する各種データのＨＰ公表について

【参考資料６】医師の働き方改革について

【参考資料８】令和３年度病床機能報告結果（有床診療所の報告状況）

【参考資料８（別紙）】令和３年度病床機能報告結果（三島二次医療圏有床診療所の報告状況）

**（質問）**

○三島医療圏において、【参考資料１】では急性期病床は過剰となっているが、【参考資料２】では不足となっている。資料の違いを教えてほしい。

**（大阪府の回答）**

〇【参考資料１】の表面は現状と将来の病床数の必要量を実数で比較している表で、裏面は現状と将来の病床数の必要量を割合で比較した表となっている。実数または割合のいずれかが過剰であれば、転換は控えてほしいと考えている。

〇【参考資料２】は、各医療機関が2025年に向け検討している病床機能をとりまとめたものと2025年の病床数の必要量を実数で比較した表となっている。ただ、2025年に向け検討している病床機能をとりまとめたものには、合意を得ていない病床計画等も含まれているため、【参考資料１】で過剰かどうか判断していただきたい。

**■議題２　基準病床数の見直しの検討**

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料２】令和４年度基準病床数の見直しの検討について

**＜協議結果＞**

・来年度も引き続き基準病床数の見直しを検討することとなった。

**（質問・意見）**

○なし

**■議題３　外来機能報告の報告期限の延長について**

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【参考資料７】厚労省外来機能報告制度に関する説明会（R4年12月）資料

**（質問・意見）**

○なし

**■議題４　令和４年度三島二次医療圏における「地域医療構想」の進捗状況**

資料に基づき、大阪府茨木保健所から説明

【資料３】令和４年度三島二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況

**（質問）**

○既存病床数・基準病床数・病床数の必要量について説明を求めたい。また、【資料３】スライド７の三島圏域において回復期が、割合としては、1.1％多く、数としては、不足となっていることをどのように理解したらよいのか説明を求めたい。

**（大阪府の回答）**

〇【資料２】のスライド11・12に記載のとおり、第７次大阪府医療計画において「基準病床数」は、病床整備の可否を議論する際の基準とし、「病床数の必要量」は、「病床機能区分別の割合」について病床転換を検討する際の目安として整理している。

○三島圏域で、回復期の割合は概ね一致しているが、数としては不足している。しかし、病床の過不足は医療をとりまく状況によっても変動するため、「病床数の必要量」は目安としていただき、病床転換の協議をお願いしたい。

〇ただ、病床数の必要量を算出したデータが古いため、必要量の見直しについて国に働きかけていく。

**（意見等）**

〇各病院がこのような内容を本当に理解して病床転換を検討しているか疑問は残る。

**■議題５　令和4年度三島二次医療圏における各病院の今後の方向性**

資料に基づき、大阪府茨木保健所から説明

【資料４】令和４年度病院プラン各医療機関別一覧（三島二次医療圏）

【資料５】令和４年度三島二次医療圏病院連絡会結果（概要）

【資料６】地域医療構想にかかる三島医療・病床懇話会の意見（概要）

【資料８】非稼働病床の現況について

【参考資料４】重点支援区域について

【参考資料５】病床機能の再編支援事業について（申請病院一覧）

（第一東和会病院・東和会いばらき病院からの説明）

〇統合後の新病院は、高槻市にある第一東和会病院の現地建替えにより、2027～2029年度の開院を予定している。昨年度は東和会いばらき病院の慢性期43床を、急性期43床の転換予定としていたが合意に至らなかったため、今年度は急性期を16床、回復期27床のプランとした。「急性期充実体制加算」の算定基準を満たすためにも、急性期16床の転換を認めてほしい。

〇圏域内の医療ニーズに応え、より一層地域医療に貢献してまいりたい。

**＜協議結果＞**

・再編統合により過剰病床への転換となる第一東和会病院・東和会いばらき病院の病院プランについては、出席委員による書面決議の結果、合意となった。

・その他の病院の病院プランについては、協議の結果、特に意見がなく合意となった。

・重点支援区域については特に意見がなく、申請を行わないこととなった。

**■議題６　令和4年度在宅医療に係る取組と今後のあり方について**

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料９】令和4年度在宅医療にかかる取組と今後のあり方

**（質問・意見）**

○なし

**■議題７　地域医療への協力に関する意向書の提出状況**

資料に基づき、大阪府茨木保健所から説明

【資料10】地域医療への協力に関する意向書提出状況（診療所新規開設者）

【資料11】地域医療への協力に関する意向書提出状況（医療機器新規購入・更新者）

**（質問・意見）**

○なし

**■議題８　第７次大阪府医療計画における取組状況の評価について**

資料に基づき、大阪府茨木保健所から説明

【資料12】第７次大阪府医療計画PDCA進捗管理　三島二次医療圏

**（質問・意見）**

○なし

**■議題９　その他の懇話会について**

資料に基づき、大阪府茨木保健所・高槻市保健所から説明

【資料13】その他の懇話会について

**（質問・意見）**

○なし